

## いちモニ 実施報告書

|                                                                                                                                                                                                   |                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| アンケート名称                                                                                                                                                                                           | 災害に対する日頃からの備えに関するアンケート |
| 担当部・課名                                                                                                                                                                                            | 危機管理室 危機管理課            |
| アンケート概要（実施期間 令和８年３月１８日～令和８年３月２７日）                                                                                                                                                                 |                        |
| <p>未曾有の被害をもたらした東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生から 15 年が経過しました。</p> <p>災害による被害を軽減するためには、一人ひとりの「日頃からの備え」が大変重要であり、災害リスクを把握し対策を立てることが大切です。</p> <p>本アンケートは、皆様が日頃からどれだけ災害に対して備えているかを確認し、今後の啓発活動や情報発信に活かしてまいります。</p> |                        |
| 市政への反映状況等                                                                                                                                                                                         |                        |
| <p>今回のアンケート調査では、災害に対して市民の皆様がどれだけ備えているかを確認するとともに、昨年３月に実施したアンケート調査の結果と比較することで、危機管理室で実施した周知・啓発がどの程度の効果があったか調査しました。</p>                                                                               |                        |

(1) 主な回答結果

| 質問内容                      | 今回の結果                                                    | 前回の結果             |
|---------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------|
| ①自宅周辺の災害リスクを知っているか        | 知っている：24%<br>少し知っている：50%                                 | 23%<br>54%        |
| ②市川市防災カルテを知っているか          | 知っている：12%<br>知らない：88%                                    | 12%<br>88%        |
| ③ローリングストックを知っているか         | 知っているかつ実践している：47%<br>知っているが実践していない：40%                   | 50%<br>39%        |
| ④自宅において、食料の備蓄をしているか       | 家族1人につき1日分程度：17%<br>家族1人につき3日分程度：58%<br>家族1人につき7日分程度：13% | 17%<br>58%<br>13% |
| ⑤自宅において、飲料水の備蓄をしているか      | 家族1人につき1日分程度：18%<br>家族1人につき3日分程度：51%<br>家族1人につき7日分程度：20% | 19%<br>51%<br>18% |
| ⑥自宅において、携帯トイレの備蓄をしているか    | 家族1人につき1日分程度：18%<br>家族1人につき3日分程度：31%<br>家族1人につき7日分程度：15% | 17%<br>30%<br>13% |
| ⑦避難情報の意味を把握しているか          | 内容を理解している：26%<br>言葉は知っている：54%                            | 28%<br>52%        |
| ⑧「地域型小規模土のうステーション」を知っているか | 知っている：49%<br>知らない：51%                                    | 49%<br>51%        |
| ⑨「マイ・タイムライン」を知っているか       | 知っているかつ作成している：1%<br>知っているが作成していない：20%<br>知らない：79%        | 2%<br>20%<br>78%  |

①・②より、自宅周辺の災害リスクをしっかりと把握している割合、自宅周辺の災害リスクを知ることのできる「市川市防災カルテ」を知っている割合が低い。

④・⑤より、自宅における食料・飲料水の備蓄は、7割程度の実施率（家族1人につき3日分程度＋7日分程度）であることから、食料・飲料水の備蓄に対する市民の意識が高い。一方で⑥より、自宅における携帯トイレの備蓄は、5割に満たない実施率（家族1人につき3日分程度＋7日分程度）であることから、食料・飲料水の備蓄に対する意識より低いことがうかがえます。

⑦・⑨より、避難情報の内容をきちんと理解している割合、マイ・タイムラインを作成している割合はいずれも低い。

## （２）前回のアンケート調査結果との比較

前回のアンケート調査結果と概ね同様の割合でしたが、災害時に避難情報等を発信する媒体で利用（確認）したことがあるものに関する設問においては、「市川市公式 Web サイト」の割合が前回から 10%落ちていました。

## （３）まとめ

・近年、日常生活に脅威を与える災害が相次いでいることもあり、生命に直結する食料・飲料水の備蓄に対する意識は高くなっているが、携帯トイレの備蓄に対する意識は依然として低いままとなっています。携帯トイレを備蓄する重要性を啓発してまいります。

・「市川市防災カルテ」を知っている割合の低さが、自宅周辺の災害リスクをきちんと把握している割合に影響を及ぼしているのではないかと考えられます。「市川市水害ハザードマップ」と「地区別減災マップ」の認知度は高いが、これらは「市川市防災カルテ」と比べマクロな視点で災害リスクを確認することができるものです。「市川市防災カルテ」の周知を進めてまいります。

・避難情報の内容をきちんと理解している割合の低さが、マイ・タイムラインを作成している割合に影響を及ぼしているのではないかと考えられます。そもそもマイ・タイムラインは、気象庁が発表する防災気象情報や避難情報の内容を理解していないと作成が難しいものとなっています。よって、避難情報の内容に関する周知を優先し、その後マイ・タイムラインに関する周知を進めてまいります。

・今回のアンケート調査結果が前回と概ね同様の割合であったことから、周知・啓発方法を見直し、更なる意識向上・実践に結びつくよう努めてまいります。